

〔デザインノート〕

視認性を高めた極小建築物の展示計画と 新デザイン媒体の研究

— デザインポッド —

藤澤忠盛

デザインポッドの名のもとに昭和女子大学 環境デザイン学科 藤澤研究室 (旧長岡造形大学藤澤研究室) は 2005 年ごろよりデザイン企画・設計・開発を繰り返し、多くの実作と仮想・演習作品を通して新たな造形物・極小建築物、またデザイン媒体としての構想を練ってきた。

デザインポッドの主な特性としては極小建築物 (造形物) = シンボル・モニュメントとして展示内容を形態に反映させメタファーとして表現することで造形物とその展示内容の視認性を高めていること。造形研究もしくはモーフォロジーを駆使して形態決定されていること。また移動可能なデザインポッドを多く提案しているがこれは移動することで人々の展示内容に関する認知度を高めることができる。展示方法としては観覧者が観て・触れて・嗅ぐことのできるハンズオン展示を含め、造形物としての視認性を生かし、インターネットや図書館から得る情報収集とは違う感覚で展示を味わうことができること。新たなデザイン媒体として提案している点では、テレビ・ラジオ・WEB・広告・パンフなど様々な媒体はあるが、デザインポッドはその新媒体として存在価値をもつ。今までの媒体ではビジュアルとサウンドのみで伝えることが多かったがハンズオン展示を基本とするデザインポッドは肌で感じる自然感覚をも伝達可能と考える。人間の五感をすべて活用し、観て触って嗅いで展示物を認知することが可能である。現代社会における様々な情報を含め、野性的なシズル感をダイナミックに味わうことが可能な新たなデザイン媒体とも言えるであろう。またスケールは少人数の人間が辛うじて入れる程度であることが一般的で、このスケールは親近感が持ちやすく目で見える情報が捉えやすいメリットがあり、ハンズオン展示に即していると研究の成果から考えている。

上記を簡易的に説明すると、観覧者はデザインポッドの面白みのある視認性の高い造形に惹かれ、ハンズオン展示で五感を活用し理解を深めていくこととなる。

デザインポッド 代表作

里山カーゴ

「越後妻有大地の芸術祭アートトリエンナーレ 2009」
出展作品

作者: 昭和女子大学 藤澤忠盛研究室 + 旧長岡造形大学
新海俊一研究室

里山カーゴは越後妻有地区の食文化とそれを支える農業に焦点を当てたデザインポッドである。妻有郷の各地に育まれた食文化の魅力を多数の引き出しに詰め込んだ木製の「食の移動標本車」。大地の芸術祭の会期中、神出鬼没に東西南北の各エリアを巡る。(図1・2・3)

東西南北と展示空間から構築される造形理論

越後妻有食文化ダイアグラムは北エリア (松代, 川西), 東エリア (十日町), 南エリア (中里, 津南), 西エリア (松之山) に分別される。各エリアにはそば, コシヒカリ, ヤマメ, イワナ, ニジマス, お酒, 人参など大地の恵の産物がある。この大地の恵みに最大限焦点をあて、この地域における食文化を展示する。

ダイアグラムにあるように田や畑が大地を覆い尽くしこのエリアにおける食文化を支えている。里山カーゴをこの中心点に配置することで食文化を支える田や畑, またその恵みの中心点に存在価値 (産物の求めやすさ) を求める。

東西南北の立方体のような造形は我々が日常的に忘れていた自然の基本とも言える方向感 (太陽は東から上り西に沈む) を思い起こし自然回帰へと感覚を誘う。(図4・5・6)

展示計画 (図7)

東西南北の中心点における配置計画は北側にどのような食文化や農作物があるのか, また南側ならどんなものがあるのか, 明快な方向性における視認性を確立し我々の興味を引き立てる。この里山カーゴから人は食文化や産地の恵みの旅を東西南北に向かって始めることができる。

「食の標本」として地域の伝統文化, 地理的特徴, 気候風土と密接に結びついた妻有郷の代表的な食物を, 懐かしき茶箆筒にも似た引き出しに詰め込んで各地に運び, 食の文化交流を育む。

展示空間は大きく4つの方向性 (東西南北) に区切られハンズオン展示における最大の醍醐味である観て, 触って, 嗅いで感じるができる。臭いまで感じることは大地の恵みを堪能するには必要であろう。

大地の芸術祭

里山カーゴ

里山と食文化を求めて



「里山カーゴ」は里をめぐる。信濃川の清らかな水に恵まれ、食文化を育んできた妻有郷。十日町市の南西に位置し、十日町、中里、松之山が交差する地点を基点として、「里山カーゴ」は大地の芸術祭の会期中、川西、十日町、中里、松之山を移動する。広域合併により新たに十日町市としての共同体の契りを結んだ妻有郷を巡る「里山カーゴ」は、神出鬼没の“食の移動標本”となるだろう。

図1 「大地の芸術祭」里山カーゴ

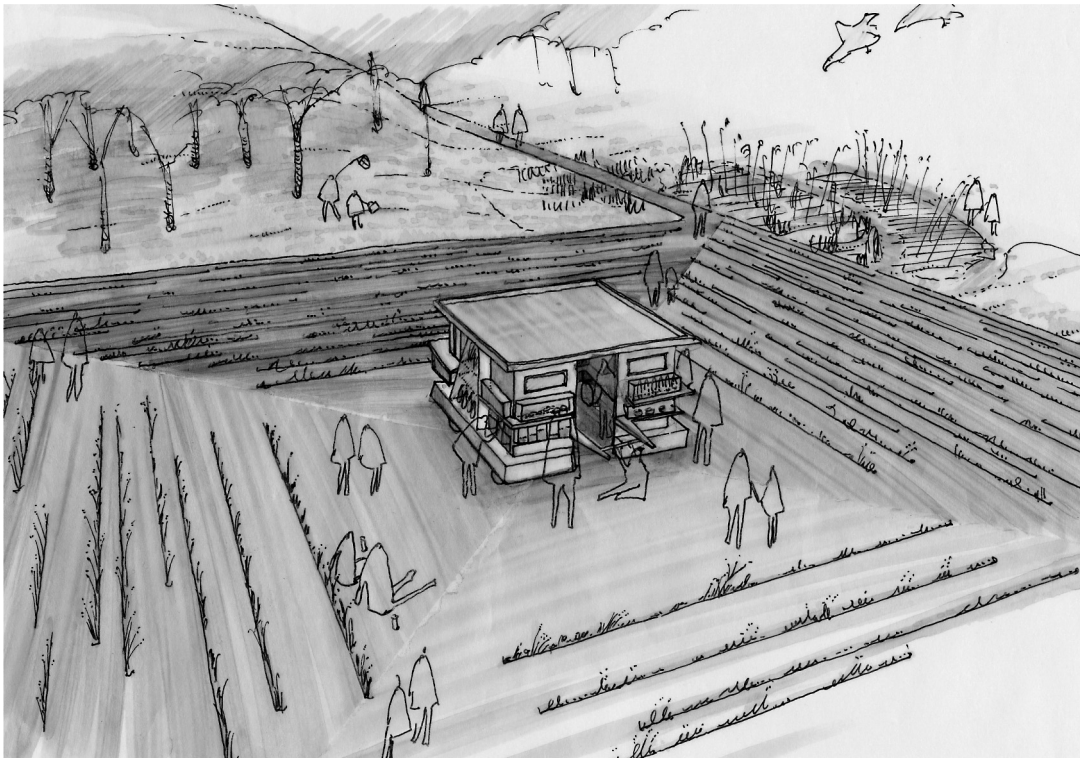


図2 東西南北の各エリアを巡る里山カーゴ



図3 木製の「食の移動標本車」

越後妻有食文化 ダイアグラム

松代エリア



五十力
当店は明治創業以来、地元越後まつだいのお菓子をじっくり作り続け
て参りました。雪國の人のやさしさが伝わるそんなお土産に是非、
当店のお菓子を二利用下さい。



あんぼ (あんぷ)
昔から庶民の食べ物として伝わる
十日町地域には、昔には「菓を菓めそ」「あんこ」
佐助漬「あんぼ」があり、真には「菓を菓めそ」「あんこ」
と「アツギがそ」などがあり、夜には地元産のコンヒカリが
使用されています。

松之山エリア



堅くなさない！しんこ餅
上新粉で甘さを抑えた「しんこ餅」が
包まれている松之山産菓名物



雪割り人参
雪の下で越冬させた人参が強いいため、
ジュースにしても酸やかな飲みごたえ



「うと羊羹、なめこ羊羹」
地元でとれた「山うと」と「なめこ」が入った自然の香りと
味わい豊かな製品
田津産製菓店にて販売

津南エリア



清酒蒸餾山
信濃川沿いの地産の酒米「五百万石」。そして名水百選「萬ヶ瀬の水」に代表され
る豊かな名水。それが発酵を醸し出す最適な水になります。清酒蒸餾山には
蒸餾した越後杜氏の技と心意気が生きています。



蜂蜜の生産：直売
信濃川沿いのニセアカシアの花から採取したアカシア蜜、秋山郷のトチノ木から
採取したイチジク蜜、長野県のリンドゴ面で採取したリンドゴ蜜。いずれも味と香りが
最高で天然の清酒蜜を生産、直売しています。他に蜜ろうそく、食用花粉、
ローヤルゼリーや貴重な秋山郷の本も取り揃えています。

越後妻有 (妻有郷)

新潟県の一帯南端の雪国地域を「妻有郷」といいます。
十日町市・旧田中重村・旧松之山町・津南町が
属しています。
新潟県の、南端の津南町という所から、長野県に届かずにだんだんと
地形が傾くにつれて、いい感じの山に「雪割り」に参ると聞きたまいたいに
なっていることから、「つまり」と呼ぶようになったとか、...



川西エリア



魚沼産 川西コンヒカリ

日本一美味しいと評判の魚沼産コンヒカリ。
なかでも川西米は高度な生産技術と恵まれた気候条件で
まばらしい米と高い質を誇っています。



清酒：松乃井酒造場～

雪国の清冽な空気の中、赤松林から
湧く清水の流れる車穴では御米酒造
所に蔵している。雪は天候を美化
し、先代お菓人達の土壌には適
りに重要な要素が全て揃う。

十日町エリア

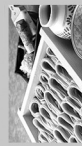


そば

厳選された雪国産のそば粉と「ふのり」を
つなぎに使ったこの地方独特のそばは、コン
の強さとのこしの良さが自慢です。

十日町が誇る魚沼産コンヒカリ「雪印米」

十日町は、日本有数の豪雪帯であるために、雪解けの水が
たのしみながら流れ続けます。「いい水」が豊富
にあるのです。



そば

そばは「へぎそば」と呼ばれる水でできた器に盛られて出てくる
そばを「へぎそば」と言います。



十日町のそばは、つなぎとして福の華「布海苔」を
使った「布海苔そば」が有名です。布海苔は野菜の旨さを
増すだけでなく、独特なうま味が感じ出されています。



笹団子

新潟名物、お土産としておなじみの笹団子。
笹とヨモギがさわやかに響くホッとのおやつ。

中里エリア



セツネフイツァン、ガンバクにて
ウツ子、ヤマメ、シジマス、塩漬
鮎り上げてその場で焼いて食べられる。
※セツネとは清津川支流の釜川に広がる環流
の総称。



清津川河口の湖にて
鯛の焼物、麻酔し、ウツ子など地元で
採れたものばかりを食材にしている。



白飯の中に青梅を入れた「青梅の飯」や
八ヶ岳の中へぐ飯を、お土産に
「しみ渡り」などが中重村を代表する銘菓です。

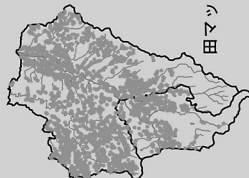
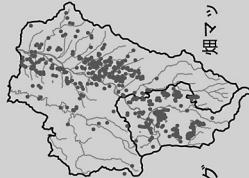
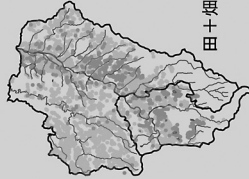


図4 越後妻有食文化ダイアグラム



図5 設置希望箇所 現地写真

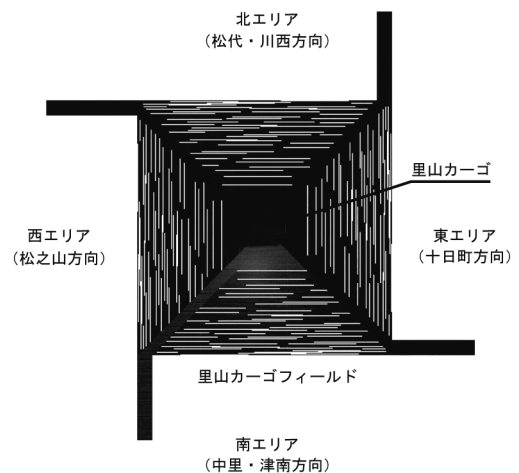


図6 里山カーゴフィールド

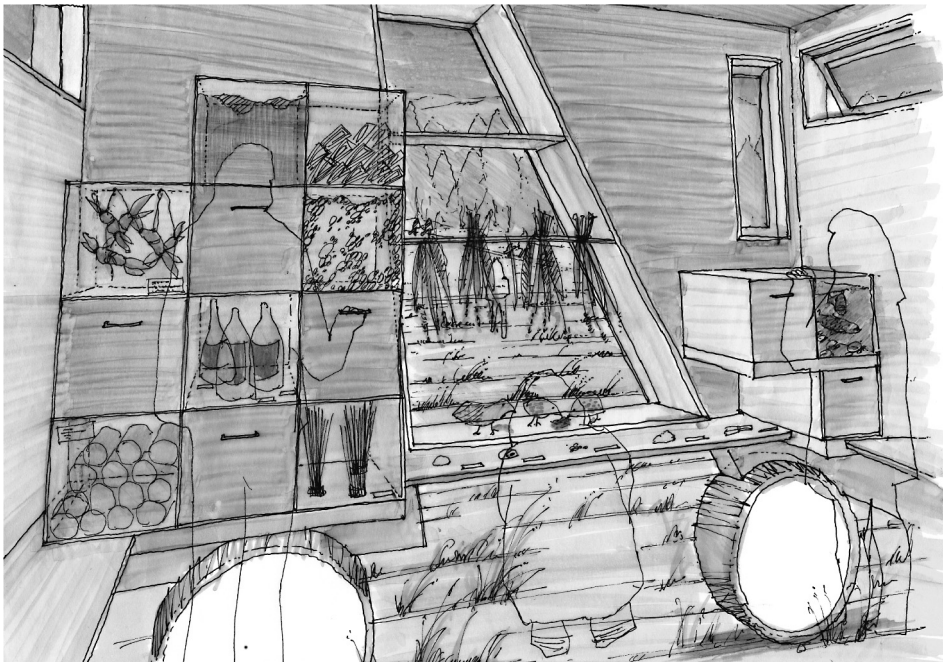


図7 里山カーゴ内観パース

移動可能な形状 (図8)

里山カーゴは芸術祭会期中移動を行い、神出鬼没に各エリアを回ることを趣旨に形成されたため、山車のような形態をしている。複雑に入り組んだ形態は移動に適している訳ではない。これは上記に記したように展示とその形態の生成方法論(東西南北)に大きく頼った結果によるものである。里山カーゴは大地の芸術祭の会期中、神出鬼没に東西南北の「里巡り」を行う。「里巡り」では広域合併で新たに十日町市という共同体に加わった旧川西町、旧中里村、旧松代町、旧松之山町を巡り、各地に育まれた食文化を届ける。



図8 移動可能な形状

・活動記録里山カーゴ(昭和女子大学藤澤研究室+長岡造形大学新海研究室) ブログ <http://satocargo.exblog.jp/>

岡田美代 昭和女子大学 環境デザイン学科 藤澤研究室
 世田谷 食バイコウプロジェクト
 デザイン企画演習作品 (図9・10)

「世田谷で美味しく 世田谷を美味しく」をコンセプトに、世田谷区民を中心とした人々が世田谷の飲食店を利用していくことで、世田谷が魅力ある“美味しい”まちとなることを目標にデザインポッドを企画・開発した。



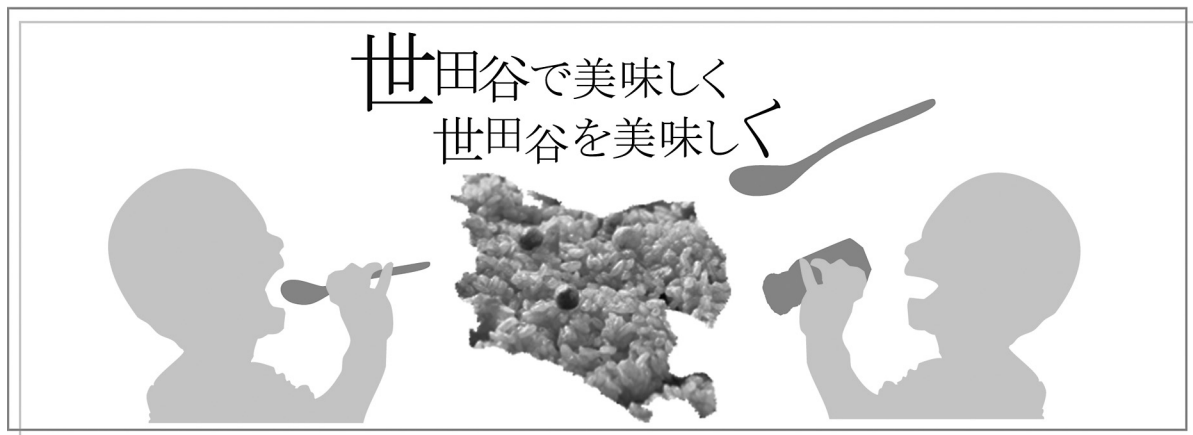
図9 「食バイコウプロジェクト」



世田谷区産業ビジョンでは、産業の健全な発展に裏付けられた自立都市：世田谷をめざして、産業の振興を通じた魅力的な地域社会づくりの指針として、テーマを「区民・地域・世田谷を産業が支えていく」、「区民・地域・世田谷が産業を育てていく」としています。

バブル崩壊以降の長引く景気の低迷と低経済成長への移行、都心部などでの大規模開発による都市間競争の激化、少子高齢化の進展、雇用環境の多様化、サービス経済化のさらなる進展など、世田谷区を取り巻く環境は、多様化、複合化が進んでいます。今後、10年間を見据えたビジョン策定では、産業振興のみならず地域社会全体を視野にいれ、世田谷の産業が安全・安心・快適な区民生活や地域社会、自立した都市：世田谷を支えていくことが求められています。

世田谷区の区民は、多様で高度な要求水準を有する消費者です。そのニーズを的確に把握し対応することは、区内産業が将来に向けて持続し成長するための重要な課題のひとつです。事業所・企業統計によると、区内事業所数は、平成8年の約3万事業所をピークに減少し、平成16年には約2万6千となっています。業種は卸売小売業・サービス業・飲食業が全体の約6割を占めています。

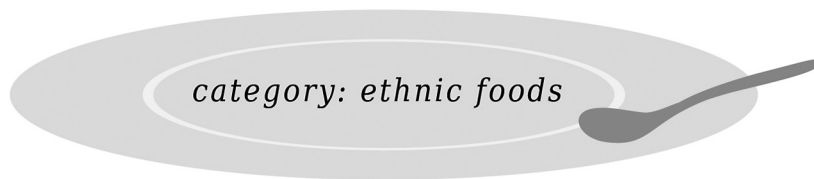


では外食産業で、産業ビジョンのテーマを考えてみます。「区民・地域・世田谷を各繁華街や店舗が支えていく」、「区民・世田谷が各繁華街や店舗を育てていく」となるでしょう。そこで、「世田谷で美味しく 世田谷を美味しく」をコンセプトに、区民を中心とした人々が世田谷の飲食店を利用していくことで、世田谷が魅力ある“美味しい”まちとなることを目標にします。

図10 「世田谷で美味しく 世田谷を美味しく」

図 11 の地図は世田谷区内の民族料理店の分布を示している。世田谷には、多数の、しかも多国籍の飲食店が存在し、最も集積している地域は三軒茶屋—池尻大橋間である。他にも、各鉄道の沿線や、高速道路の通る地域を中心に多くの民族料理店が存在していることが図より理解できる。

区民や、区外から世田谷を訪れる人に、実際にそれぞれの店舗にどんどん行ってもらうことで、飲食業界の活性、さらに各種沿線や各地域の回遊率をあげることもつながる。



世田谷の新しい魅力=民族料理！？

外食産業のジャンルの中で、特に非日常的な体験を味わえるのが民族料理です。民族料理店に行き食事をするだけで、行ったことがなくともその国の文化を体感することができます。そんな体験を求めるなら、繁華街でなくともその店舗を訪れるのではないのでしょうか。各店舗ごとの魅力や個性が出やすいということで、民族料理というジャンルの活性化は世田谷全体の飲食業界の盛り上げに一役買うのではないかと考えました。

右の地図は世田谷区内の民族料理店の分布を示しています。実は世田谷には、こんなにも多数の、しかも多国籍の飲食店が存在しています。最も集積している地域は三軒茶屋—池尻大橋間です。他にも、各鉄道の沿線や、高速道路の通る地域を中心に多くの民族料理店が存在していることがわかります。

区民や、区外から世田谷を訪れる人にこの事実を知ってもらい、実際にそれぞれの店舗にどんどん行ってもらうことで、飲食業界の活性、さらに各種沿線や各地域の回遊率をあげることもつながります。

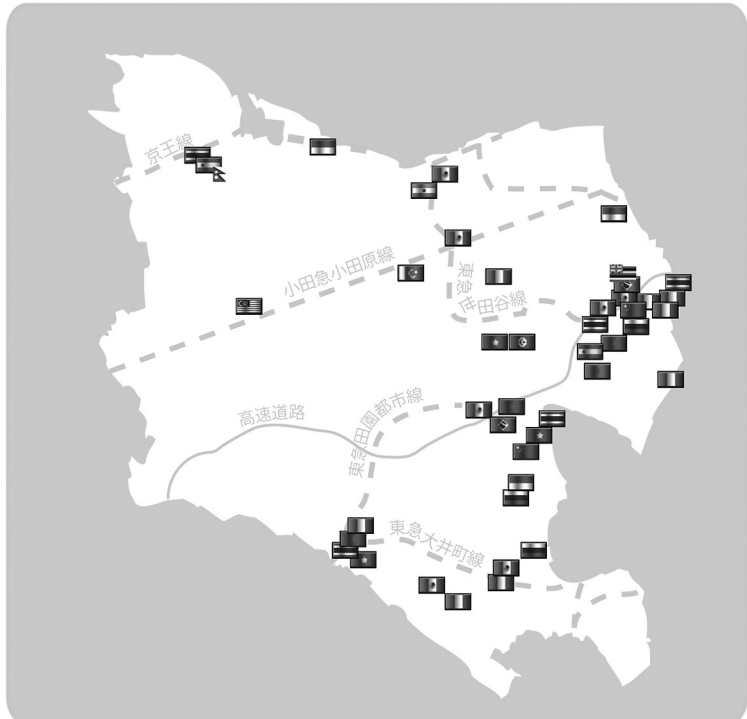


図 11 世田谷区内の民族料理店の分布

飲食業などをはじめとした世田谷区内の事業所は、鉄道ターミナル駅周辺の商業集積地や区内に点在する商店街に集中している。二子玉川・下北沢・三軒茶屋といった商業集積地においては、まちの歴史、立地条件、集まる事業者の傾向などをもとに、個性あるまちのイメージが創り出されている。(図12)

これらのように、世田谷には区外から世田谷の特色ある商品やサービスを購入する人が多く訪れるまちがあり、三軒茶屋、下北沢、二子玉川などはそれぞれ個性のある魅力的な地域である。しかし、地域内循環をさらに促進するた

めに、拠点エリア内の回遊性や拠点同士の回遊性を高め、新たな魅力を創出していくことが重要であると考えられる。

例えば、下北沢から三軒茶屋、三軒茶屋から二子玉川まで、にぎわいをつくり、回遊性を高めることで、街と街の間に新たなにぎわいやブランドを生み出し、それが世田谷の新たな魅力につながっていくと考える。

そこで、この3つの地域をさらにアピールし、そしてさらに、小田急線、京王線、東急線、世田谷線などの沿線に回遊性を高めるため、沿線ごとや、繁華街でないところにある飲食店各店舗の魅力を創出することも目的とする。

飲食業などをはじめとした世田谷区内の事業所は、鉄道ターミナル駅周辺の商業集積地や区内に点在する商店街に集中しています。

中でも、二子玉川・下北沢・三軒茶屋といった商業集積地においては、

まちの歴史、立地条件、集まる事業者の傾向などをもとに、個性あるまちのイメージが創り出されています。

これらのように、世田谷には区外から世田谷の特色ある商品やサービスを購入する人が多く訪れるまちがあります。

三軒茶屋、下北沢、二子玉川など、それぞれは個性のある魅力ある地域です。しかし、地域内循環をさらに促進するために、拠点エリア内の回遊性や拠点同士の回遊性を高め、新たな魅力を創出していくことが重要です。例えば、下北沢から三軒茶屋、三軒茶屋から二子玉川まで、にぎわいをつくり、回遊性を高めることで、街と街の間に新たなにぎわいやブランドを生み出し、それが世田谷の新たな魅力につながっていきます。

そこで、この3つの地域をさらにアピールします。そしてさらに、小田急線、京王線、東急線、世田谷線などの沿線に回遊性を高めるため、沿線ごとや、繁華街でないところにある飲食店各店舗の魅力を創出を目指すことが必要となります。



図12 商業集積地：二子玉川・下北沢・三軒茶屋

外食産業のジャンルの中で、特に非日常的な体験を味わえるのが民族料理と考えている。民族料理に注目してもらうには、まず上記エリアの各国の料理に注目してもらう必要がある。パスポートのスタンプ（図13）が増えていくのを楽しむようにさまざまな国の民族料理に挑戦するデザインポッドを考案した。

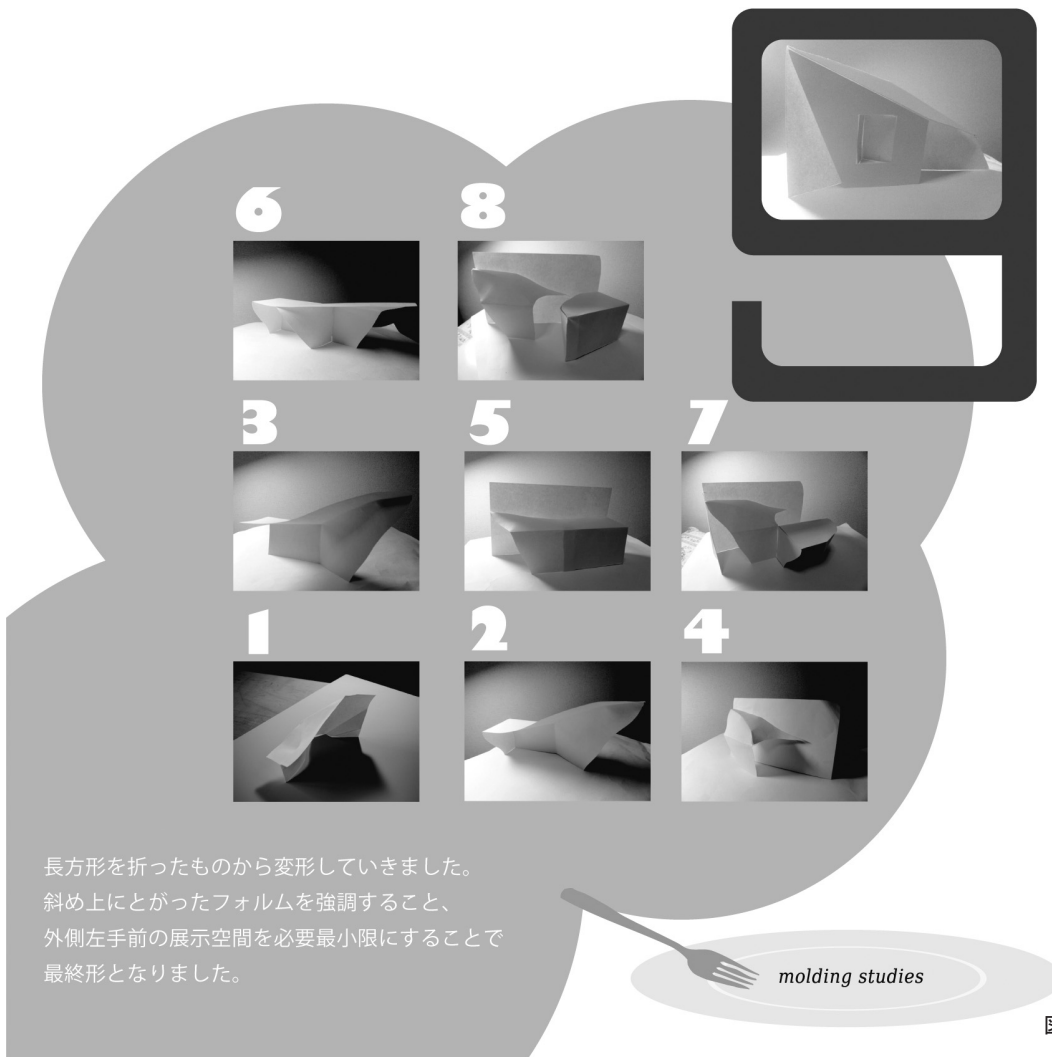
デザインポッド: 造形研究 (図14)

ポッドの展示機能を考慮し、長方形を折ったものから変容して構築した。

斜め上にとがったフォルムを強調することでナプキンのイメージを持たせ飲食産業を想像する。視認性を高めた外側左手前の展示空間を必要最小限にすることで人々の通過動線を考慮して最終形となった。



図13 さまざまな国の民族料理
ーパスポートのスタンプを増やすように



長方形を折ったものから変形していきました。
斜め上にとがったフォルムを強調すること、
外側左手前の展示空間を必要最小限にすることで
最終形となりました。

図14 造形研究:
ナプキンをイメージして

展示計画 (図 15)

パスポート・デザインのある裏の凸の部分はスクリーンとなっていて、三軒茶屋など世田谷各地の繁華街の情報の映像がながれる。世田谷区の民族料理店の分布図や、世田谷の産業ビジョンについての展示が計画されている。表側はパスポートをモチーフとした世田谷の民族料理店のカタログとなっていてハンズオン展示としては見た人がページをめくり、様々な世田谷区に関する飲食の情報を共有することが可能である。

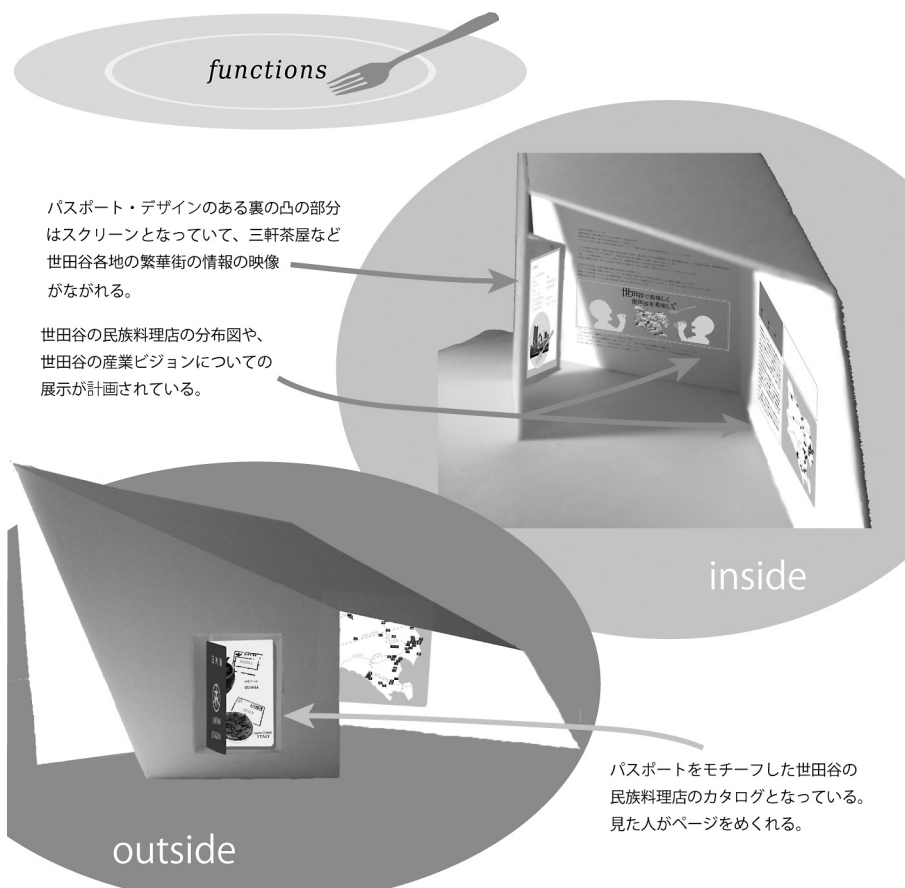
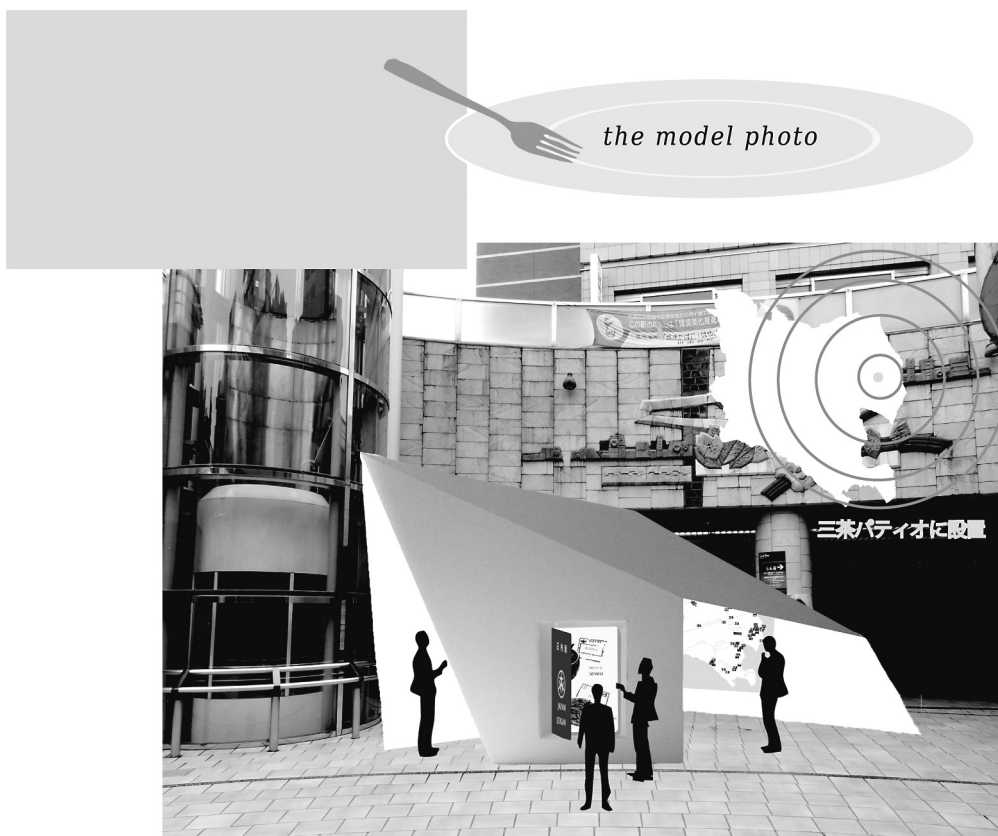


図 15 展示計画: inside & outside



配置計画 (図 16)

三軒茶屋パティオに配置。三軒茶屋周辺の多国籍飲食文化に貢献しコンセプトである「世田谷で美味しく 世田谷を美味しく」を実践する。ポッドは移動可能・分解可能な素材で構築され二子玉川, 下北エリアを周遊する。

図 16 配置計画:
三軒茶屋パティオ

阿部初美 昭和女子大学 環境デザイン学科
 藤澤研究室
 世田谷 祭りプロジェクト
 デザイン企画演習作品 (図 17)

世田谷区は、都内でも有数の遺跡密集地であり、その分布は区内のほぼ全域に及ぶ。

天正時代、軍事・政治上必要な伝馬の確保のため宿場の繁栄が必要不可欠であった。そして、世田谷の楽市が開かれ、現在でも形を変えながらポロ市として存続している。このように世田谷は市や祭りが非常に盛んなエリアである。



右: 図 17 「世田谷 祭りプロジェクト」

下: 図 18 世田谷の特色



寺が多い

関東大震災が発生すると、被害を受けた下町の人々は地価が安く交通便のよい近郊へ移住し、世田谷が急激に人口が増え、電車の沿線は住宅地に変貌していった。都心で被災した寺が、この年から世田谷に 26 寺も移転し、寺が多いのも特色。

世田谷の特色

- ・早くから各駅の周辺に地区の核となる商店街が形成され発展してきた。商業活性化に対する意欲は強く、地元と結びついたイベントの定着が見られる。
- ・古くから住む人々の結びつきが強い地域でもあり、伝統的な行事や文化的な遺産等を自分たちで守っているという意識を強く持っている。近年移り住んだ人々の間にも、地元の歴史や文化への関心が高まっている。

歴史がある

世田谷区は、都内でも有数の遺跡密集地であり、その分布は区内のほぼ全域に及ぶ。天正時代、軍事・政治上必要な伝馬の確保のため宿場の繁栄が必要不可欠であった。そして、世田谷の楽市が開かれた。現在でも形を変えながらポロ市として存続している。

住民への活動

世田谷区ではふるさととは遠くにあるものではなく、「身近なところで作る」という発想に立ち、特色のある地域まつりを通してふるさと意識の高揚とふれあいの場づくりを図るため、イベントを支援している。



調査分析 (図 18)

世田谷の特色

- ・早くから各駅の周辺に地区の核となる商店街が形成され発展してきた。商業活性化に対する意欲は強く、地元と結びついたイベントの定着が見られる。
- ・古くから住む人々の結びつきが強い地域でもあり、伝統的な行事や文化的な遺産等を自分たちで守っているという意識を強く持っている。近年移り住んだ人々の間にも、地元の歴史や文化への関心が高まっている。
- ・寺が多い。関東大震災後、被害を受けた下町の人々は地価が安く交通便のよい近郊へ移住し、世田谷の人口が急激に増え、電車の沿線は住宅地に変貌していった。都心で被災した寺が、この年から世田谷に 26 寺も移転した。

- ・世田谷区では，“ふるさと”は遠くにあるものではなく，身近なところで作るという発想に立ち，特色のある四季折々の地域まつりが行われている。

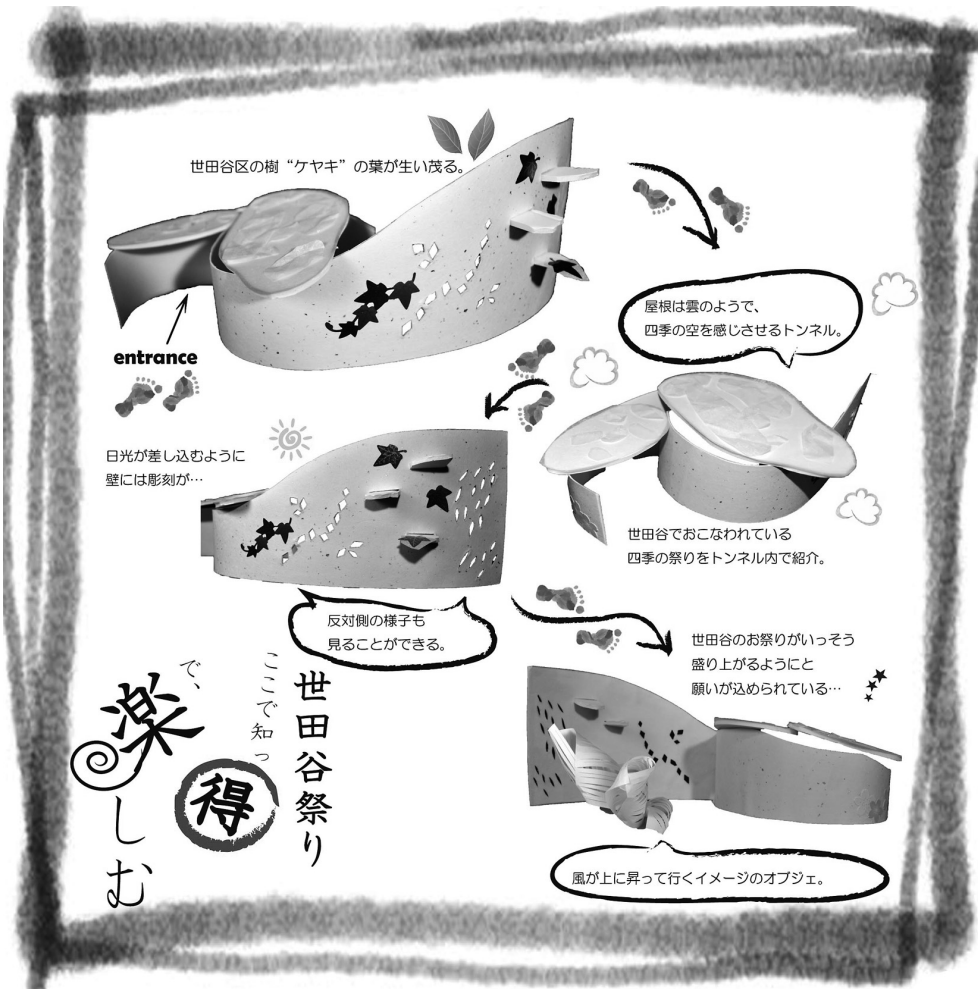
造形研究 (図 19)

- 1: 紙に切れ込みを入れ，空間表現を行った
- 2: 一枚の紙を折り曲げ変形を行った
- 3: ねじれ 切れ込みを入れ，光の表現
- 4: 連結し展示の領域を確保

- 5: シンプルに弧を描くことで，展示領域の基礎を確立
- 6: 5の変形
- 7: アクセントの追加
- 8: 光の造形を追加
- 9: 完成



図 19 造形研究



展示計画 (図20)

世田谷区の樹“ケヤキ”の葉が生い茂る展示空間イメージ。屋根は雲のようで、四季の空を感じさせるトンネルがあり高い視認性をポッドの形状に与える。世田谷でおこなわれているお祭りがいっそう盛り上がるようにと願いを込め…四季の祭りをトンネル内でハンズオン紹介。日光が差し込むように壁には彫刻をほどこし展示空間を柔らかく照らす。

人は訪れ、デザインポッドに触れ、感じることで世田谷の自然とその市と祭りの意味を興味深く知ることができるであろう。

図20 展示計画

デザインポッド パース (図21)

色彩計画を行い駒沢オリンピック公園に配置。移動可能なシステムなので世田谷区内のお祭りエリアを巡回することが可能。



図21 デザインポッド パース



梶浦瑤子 昭和女子大学 環境デザイン学科 藤澤研究室
 世田谷 住民参加型・防犯プロジェクト
 デザイン企画演習作品

ニケーションツールとしてこのデザインポッドを使用することができる。お互いの危機管理の向上を区民に促すことができるデザインポッドを構築した。

住民参加型のデザインポッド

現代社会は、情報を待つだけの時代ではなくなってきており、我々自身が自ら発信することが求められてきているように感じている。このプロジェクトを世田谷区民参加型にすることによって、自分の関わっているエリアへの犯罪の無い平穏さへの愛着をより一層感じることができ、そして、住民が感じているポイントと行政が考えているポイントの相違点などを一目瞭然に把握することが可能になる。このような交流から、普段なかなか関わる事のない防災・防犯関係の人たちと住民が実際に会わなくても防犯コミュ

調査・分析 (図 22)

〈日本の警察からみた世田谷区の安全・安心への試み〉

世田谷区の推計人口は 88 万人を越え、東京 23 区内で最多である。小学校、中学校、高校と未成年者だけでも推定 5 万人が世田谷区で一日の大半を過ごし、他に大学・短大、会社、商店が多くあるのでより大勢の人々が生活している。それに伴い交番・警察署・消防署なども多数存在する。(図 23)

犯罪とは誰にでも起こりうることだということを忘れてはならない。そして、何か起きてしまったときは速やかな

日本の警察からみた世田谷区の
安全・安心への試み

日本の警察現場からみた世田谷区の現状は、このようである。世田谷区の推計人口は、東京23区内で最多である。小学校が74、中学校が55、高校が40と未成年者だけでも推定 50940 人が世田谷区で1日の大半を過ごしている。他に大学・短大、会社、商店が多くあるのでよりたくさんのひとが生活していると考えられる。犯罪とは誰にでも起こりうることだということを忘れてはならない。そして、何か起きてしまったときは速やかな解決が望まれる。ここで大切になってくるのは初動捜査である。

毎年、20 万人の志願者の中から採用に至る警察官の卵達は全国でおよそ1万人。警察学校での訓練終了後、その大半は地域の安全を守る地域課の交番勤務、「おまわりさん」から職歴をスタートする。警察官の間ではハコ、と呼ばれる交番。その勤務内容は、通報を受けて現場急行、事件・事故の初動捜査、巡回パトロールに地理案内、落とし物取り扱い、町の人の様々な相談事に至るまでじつに様々、支えているのは地域の実情を知り尽くした「おまわりさん」の警戒ネットワーク。これが警察の生きる道。鑑識の仕事は事件現場に真っ先に駆けつけ、そこに残された犯人の証拠を探し出すことから始まる。足跡はないか、髪の毛などの DNA 資料は落ちていないか、そして指紋は残されていないか。少しでも確実な痕跡を見つけて出すことが捜査の第一歩である。しかし、わかりやすい痕跡が現場に残されていないことなどめったにない。ようやく指紋や髪の毛などを入手した後、さらに鑑識の仕事は続く。犯人は嘘をつくけど、「もの」は嘘をつかない。「もの」から事件の状況を解明し、犯人を割り出す。

事件が発生し、最初に動き出すのは鑑識である。そして、目では見えないほんの小さなほころびを見つけて出す。その後は、科学のスペシャリストが仕事を受け継ぐ。科学の進歩が犯罪を解決させる。このような捜査を素早く行うことによって事件解決にいち早く近づくことができる。世田谷区は、都心だということもあり 要人警護も必要となってくる。事件が起きたとき、めまぐるしく進化を遂げている科学捜査こそがこれからの日本の警察捜査を支えていくことになる。

図 22 日本の警察からみた世田谷区の安全・安心の試み

解決が望まれる。警察サイドから考え、ここで大切になってくることは初動捜査である。

事件が発生し、最初に動き出すのは鑑識である。そして、目では見えないほんの小さなほころびを見つけ出す。その後は、科学のスペシャリストが仕事を受け継ぐ。科学の進化が犯罪を解決させる。このような捜査を素早く行うことによって事件解決にいち早く近づくことができる。世田谷区は、都心だということもあり要人警護も必要となってくる。事件が起きたとき、めまぐるしく進化を遂げている科学捜査こそがこれからの日本の警察捜査を支えていくことになる。

このデザインポッドを通して、区民に警察の犯罪捜査の職務を知っていただき、ハンズオン展示を通して、防犯の知識を理解し体験していただきたいと願う。

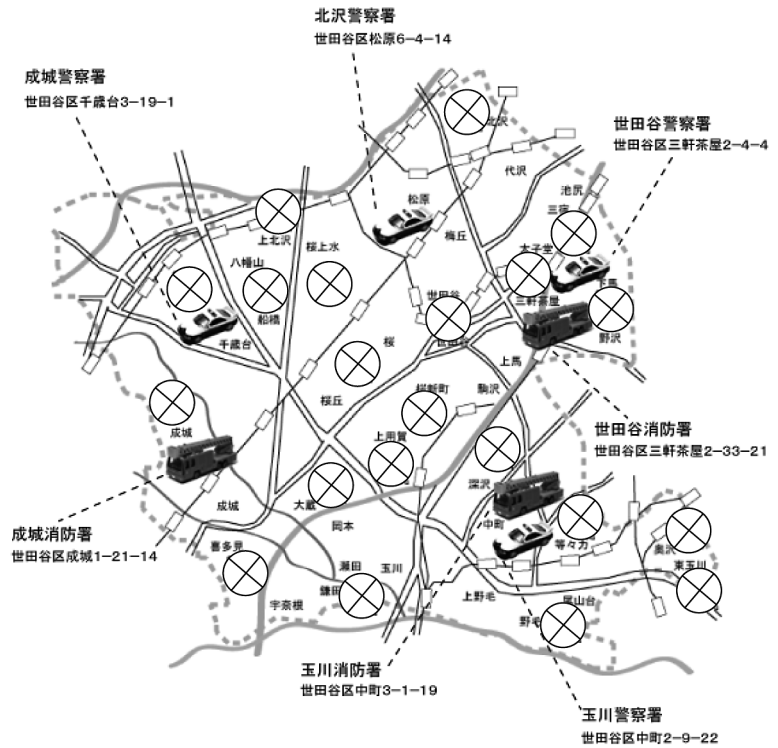
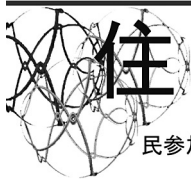
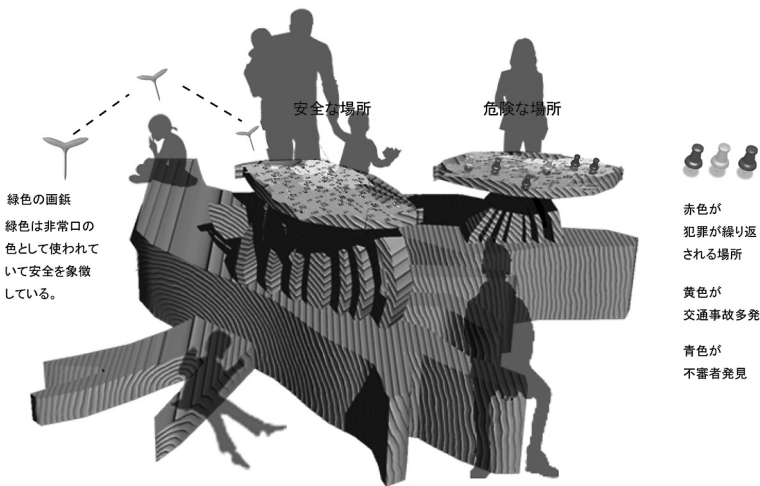


図 23 マップ: 交番・警察署・消防署



民参加型デザイン

今の世の中、情報を待つだけの時代ではなくてきている。私たち自身が自ら発信することが求められてきているように感じている。このように世田谷区民参加型にすることによって、自分の関わっている場所への愛着をより一層感じることができる。そして、住民が感じているポイントと行政が考えているポイントの相違点などを一目瞭然に把握することができる。このような交流から、普段なかなか関わることのない防災防犯関係の人たちと住民が実際に会わなくてもコミュニケーションツールとしてこの場を使うことができる。このようなことで、お互いの危機管理の向上を区民に促すことができる。



展示計画

科学捜査体験ブース (図 24・25・26)

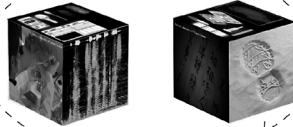
ハンズオン展示としては普段経験することのできない体験コーナーを計画した。日常ではほとんど接する機会のない科学捜査についての情報に触れる体験を通して、老若男女に楽しみながら理解を深めてもらうことを目的とする。

台の上ではハンズオン展示である体験コーナー、側面にはたくさん科学捜査の種類を解説する。

図 24 住民参加型デザイン

機能1

今の世の中、情報を持つだけの時代ではなく
なってきた。
私たち自身が自ら発信することが求められて
きているように感じている。世田谷区民参加型
にすることによって、住民が感じているポイント
と行政が考えているポイントの相違点などを
一目瞭然に把握することができる。
住民が実際に会わなくてもコミュニケーションツール
としてこの場を使うことができる。
このようなことで、お互いの危機管理の向上を区民に
促すことができる。



普段経験することのできない
体験コーナーを設ける。
実際にやってみることで、老若男女
に楽しみながら科学捜査を理
解してもらえる。
台の上では体験コーナー、側面
にはたくさんの科学捜査の種類
を紹介する。

科学捜査という言葉自体が固く
難しいイメージがある。
映像という視覚、聴覚を使って理解
しやすい環境を提供することによって
大人から子供まで幅広い年齢層に
理解してもらえるのではないかと
考えられる。
ドラマ、映画などをここで紹介する
ことによって家でも見ることが出来る。
この場所は、情報提供とともに
自分たちの地域も同じように
守られているという実感を住民たちが
持つことができる場所と考えてもらいたい。

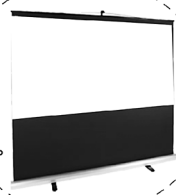
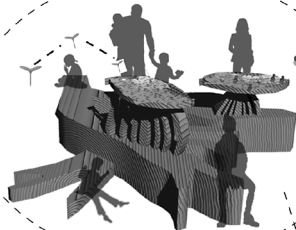


図 25 デザイン: 機能 1

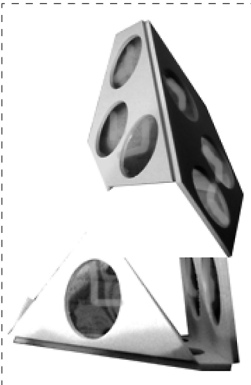
機能2

守られている雰囲気を出すために、角ばったデザインにした。
それだけではなく、円を組み入れることによって優しいイメージも
同時に考えた。
円を時計に見立てて、24時間を表し透明にすることによって
中身を外からでも見ることができるようにした。
針の色を外から見たら、黄緑色。内側から見たらピンク色。
黄緑色は、非常口の色として使われていて安心安全の象徴。
ピンクは、かわいさやキュートさではなく実際にアメリカの刑務所で
受刑者の服をピンクにしたら再犯率が激変したという事実があり
自分の愛情に気づき他人のことを大事にしたくなる色ということから
今回考えた Pod のデザインにふさわしいと思い設定した。

左側



上面



右側



図 26 デザイン: 機能 2

視覚・聴覚からみる科学捜査現場 (図 27・28)

科学捜査という言葉自体が固く難しいイメージがある。映像という、視覚・聴覚を使って理解しやすい環境を提供することによって大人から子どもまで幅広い年齢層にわかってもらえるのではないかと考えた。ここで紹介されるド

ラマ、映画は家庭でも見ることができる。このデザインボードは、情報を提供すると同時に、自分たちの地域も同じように守られているという実感を区民に持ってもらう場所である。

普段経験することのできない体験コーナーを設ける。実際にやってみることによって詳しく知ることができ、老若男女に楽しみながら科学捜査を理解してもらえ。台の上では体験コーナー、側面にはたくさんの科学捜査の種類を紹介する。

★指紋鑑定体験キット
○種類
・渦状紋
円形または渦巻状の線で構成されている指紋 日本人の約5割が渦状紋といわれる

・蹄状紋
右、もしくは左どちらかの方向に蹄の形をして流れている指紋 日本人の約4割が蹄状紋といわれる

・弓状紋
弓なりになった線のみで構成されている指紋 一側より他方に向かい、逆流することがない。日本人には少ない。

・変体紋
前記のいずれの分類にも属さない指紋。上下に流れる線で形作られているものや、点または短い線だけで形作られているもの等、極めて珍しい。

★DNA 鑑定

- ①ヒト DNA 多型領域における検査及び解析と研究
- ②法医学試料に関する DNA 多型解析と研究
- ③物体、痕跡からの DNA 抽出と STR 型判定に関する実験的解析及び研究と開発
- ④生物学、人類学的試料に関する DNA 型解析及び研究
- ⑤法医学的解析法の内容の検討と助言

★血液鑑定体験キット

- ・単鎖 DNA 型 (STR 型)
DNA の特定領域における反復配列の繰り返し回数の違いを調べる方法
- ・ミトコンドリア DNA 型 (mtDNA 型)
細胞核の外側にあるミトコンドリア DNA の塩基配列の違いを調べる方法。
- ・Y 染色体単鎖 DNA ハプロタイプ型 (Y-STR 型)
細胞核にある性染色体には Y 染色体と X 染色体が存在し、男性は Y 染色体と X 染色体が同時に存在し女性には X 染色体しか存在しない。

★筆跡鑑定

個人の筆跡は、常に個性を持って存在している。しかし、常に不変不動のものではない。記載時の客観的条件や心理状態によって、多少の変動は不可避免的に生じるから、恒常性と言っても完全に不変不動というのではなく、その変動が、一個人の筆跡として異同を比較検査した場合、許容の範囲内にあつて無視し得る程度のものであることを意味している。

★音声鑑定

音声鑑定は、殺人事件や強姦事件、麻薬取引や爆弾テロなどに用いられさまざまな刑事事件で活躍する鑑定法である。音声鑑定は大別すると以下の2種類に分けられる

- ①音紋鑑定
人の声の成分を解析し人物(個人)を特定する
- ②音声鑑定
音に含まれる成分を解析し状況などを特定する

★足跡鑑定

足跡の科学は、大きく別けて2種類。一つは、現場に残された足跡が誰の足跡だったか調べる科学。二つ目は、足跡を調べその場所何が起きたのかを調べる科学。各研究は、異同識別科学と行動法科学に分類されている。

○足跡の種類

- ①立体足跡=土や砂、雪など、軟らかい土壌などに残された立体的な足跡
- ②平面足跡=床やコンクリートなどに平面的に印象された足跡

○足跡の採取方法

①写真撮影法	⑤ポリラックス法
②石こう法	⑥DIP 法
③ゼラチン転写法	⑦チオンアン法
④静電気法	⑧3D スキャン法

図 27 科学捜査体験ブース



覚・聴覚からみる科学捜査

科学捜査という言葉自体が固く難しいイメージがある。映像という、視覚・聴覚を使って理解しやすい環境を提供することによって大人から子どもまで幅広い年齢層にわかってもらえるのではないかと考えている。ドラマ、映画をここで紹介することによって家でも見ることができる。この場所は、情報提供とともに自分たちの地域も同じように守られているという実感を住民たちが持つことができる場所と考えてもらいたい。

図 28 視覚・聴覚からみる科学捜査



デザインポッド: 造形研究 (図 29)

守られている雰囲気を表すために、角があるデザインにした。それだけではなく、円を組み入れることによって優しいイメージも同時に考えた。円を時計に見立てて、24時間を表し、透明にすることによって中身を外からでも見ることができるようデザインした。また色彩計画としては針の色を外から見たら、黄緑色。内側から見たらピンク色。

黄緑色は、非常口の色として使われていて安心・安全の象徴。ピンクは、かわいさやキュートさではなく、実際にアメリカの刑務所で受刑者の服をピンクにしたら再犯率が激変したという事実があり自分の愛情に気づき他人のことを大事にしたいという色ということから考案した。Podのデザインにふさわしいと思い色彩計画も含め造形研究を行った。

造形研究

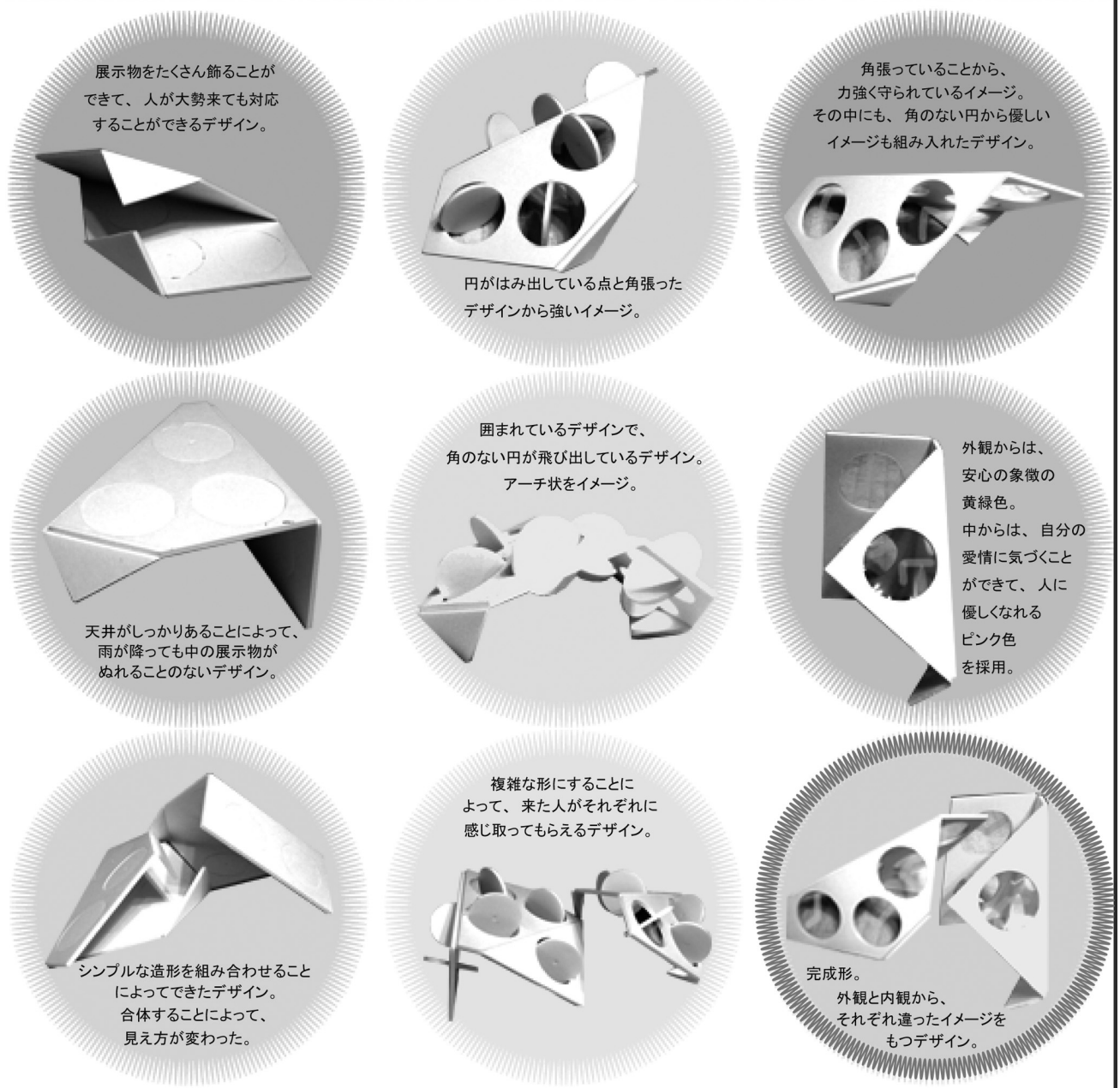


図 29 デザインポッド造形研究

配置計画 (図 30)

居住区域でありショッピングエリアでもある二子玉川にプロジェクトを計画し、その駅付近にポッドを配置することで、大勢の人に関心を持ってもらい、またハンズオン展示を通して体験する機会を増やしていただきたいと考える。



図 30 デザインポッド パース

References

Wikipedia: 指紋

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%8C%87%E7%B4%8B>

Wikipedia: 白バイ隊員

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%99%BD%E3%83%90%E3%82%A4%E9%9A%8A%E5%93%A1>

Wikipedia: DNA 型鑑定

<http://ja.wikipedia.org/wiki/DNA%E5%9E%8B%E9%91%91%E5%AE%9A>

Wikipedia: 筆跡鑑定

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%AD%86%E8%B7%A1%E9%91%91%E5%AE%9A>

NHK: 「あしたをつかめ～平成若者仕事図鑑～」

<http://www.nhk.or.jp/shigoto/zukan/193/top.html>

<http://www.nhk.or.jp/shigoto/zukan/049/top.html>

<http://www.nhk.or.jp/shigoto/zukan/180/top.html>

<http://www.nhk.or.jp/shigoto/zukan/109/top.html>

越後妻有アートナビ: 田津屋製菓店

<http://www.kanko-navi.jp/modules/navi/index.php?cid=16&lid=509&page=print>

川西産こしひかり!

http://www.wmatu.com/event/sp_ed/kankou/kome.html

清津峡温泉瀬戸口の湯: 清津峡ホテル セとぐち

<http://www.yumeguri.com/tabi/0109/setoguchi.html>

甲信越 TRAVELER

<http://koshinetsu-yado.sblo.jp/article/1032860.html>

小嶋屋総本店 <http://www.kojimaya.co.jp/index.html>

世田谷区産業ビジョン (平成 20 年 3 月 世田谷区)

http://www.city.setagaya.tokyo.jp/030/pdf/17145_3.pdf

世田谷区政概要 2011: 区の歴史

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/ward/guide/pdf/018-023.pdf>

津南町ウェブサイト

http://www.town.tsunan.niigata.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=1349

津南町観光協会: 津南案内人ブログ (析蜜)

<http://tsunan-info.seesaa.net/article/150696222.html>

十日町市観光協会 <http://www.tokamachishikankou.jp/>

十日町市公式ホームページ: お土産

<http://www.city.tokamachi.niigata.jp/page/10170200099.html>

十日町地域振興局: 松代名物「コシヒカリあんぼ」の紹介

http://www.pref.niigata.lg.jp/HTML_Article/512/482/2006_0.pdf

十日町名産・妻有そば (株) 玉垣製麺所: 妻有郷の歴史

<http://www.tsumarisoba.co.jp/tsumari/index.htm>

十日町を楽しもう!: 特産品紹介

<http://www.tiara.or.jp/~atema/list.html>

風月堂菓子舗

<http://www.matsudai.com/syookoukai/fugetsudo/>

法科学鑑定研究所 <http://www.e-kantei.org/>

松乃井酒造場 <http://www.matsunoi.net/>

(ふじさわ ただもり 環境デザイン学科)